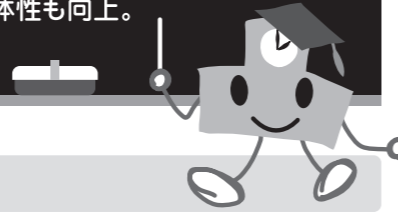


小学校の事例 北区 光陽小学校

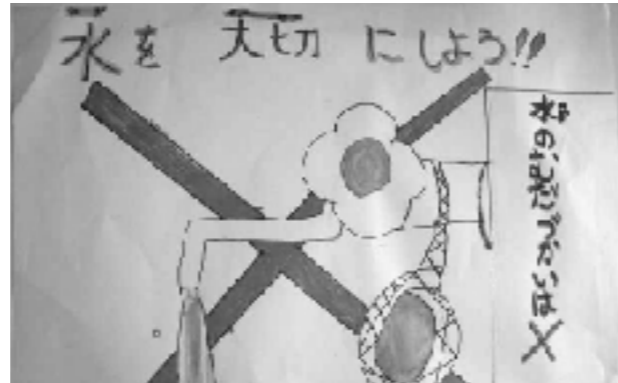
みんなで協力しながら楽しく活動。 ハッピーエコロジー児童会。

友達のためにリングプルの収集を開始したことをきっかけに環境の大切さを実感。エコロジーに取り組む委員会が主体となり、清掃活動やポスター作成など他の活動にも取り組むように。日常的な活動を行う中で児童の主体性も向上。



はじめ 毎年 児童が活動目標をネーミング

本校では、児童が主体的にエコロジーに取り組む委員会活動を行っている。毎年、委員会で会の名前を決めており、平成22年度は「ハッピーエコロジー児童会」という名前で活動。「楽しく協力しあい環境を守る」ことを目的として、給食の時間にエコクイズを放送するなど、環境について楽しみながら考えていく活動を展開している。

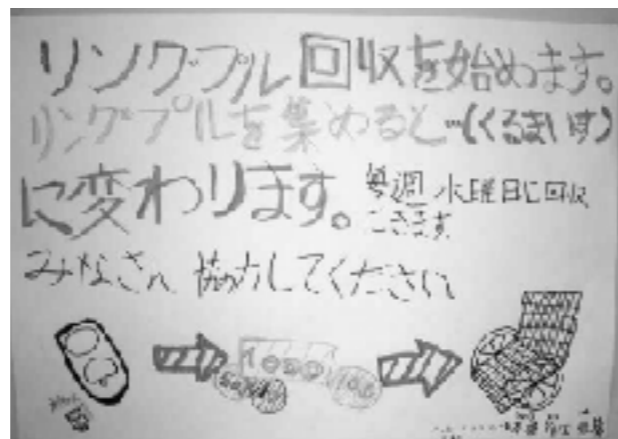


節水を呼びかけるポスター

内容 友達のための行動から環境全体を考えるように

ハッピーエコロジー委員会の中心的な活動のひとつが、リングプルの収集である。これはある児童の足が不自由となり、車いすが必要になったことがきっかけで、平成17年頃から取り組むようになった。毎週水曜日には委員が各教室を回ってリングプルを収集。車いすへの交換という具体的な目標に向かって意欲的に取り組んでいる。

この活動から児童は環境活動の大切さを身をもって感じるようになり、他の活動にも積極的に取り組むようになった。自分たちが通っている通学路をきれいにするため、各学期に1回、登校時に通学路の清掃を実施したり、学校周辺にある安春川の清掃を行ったりしている。このような取組により、保護者や地域の方の理解を得ている。また、環境に関わる大切なことについてポスターを作成し、エコや環境活動に関する意識を高めるなどの活動を日常的に行っている。



リングプル回収の啓発ポスター

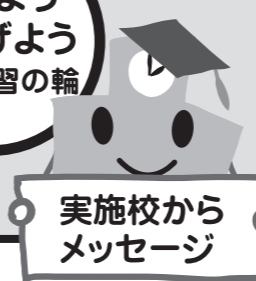
効果 のびのびとした活動で児童の主体性がアップ

体験をとおして学ぶことで、子どもは実感を伴って理解していくことができる。本校では児童がエコに関して強く興味をもち、さまざまなことに意欲的に取り組むようになってきている。しかし、児童が主体的に活動するよさの反面、委員会で方針をさだめ、活動がスタートするまでの時間がかかるという課題があり、決められた時間の中で効率よく活動するよう、教職員が工夫して取り組んでいる。



節電を呼びかけるポスター

広げよう つなげよう 環境学習の輪



実施校から
メッセージ

一人一人の行動というのは、人の目に触れるものもありますが、目立たないことでもあります。「人のために」という親切な心づかいも、どちらかという目立たないことの方が多いかもしれません。しかし、「誰かのためにできることをすすんでやる」ということは、生きていく上で、とても大切な行動だと思います。これからも、このような思いやりの心を学校全体で育てていきたいと思っています。